



学生・教職員・市民一般の皆様へ
早稲田大学また他大学からも歓迎



著者講演会

水林章 (上智大学名誉教授)

+コメンテーター水林彪 (早稲田大学名誉教授)

著書『日本語に生まれること、 フランス語を生きること』

～市民たちの社会とその言語的基礎～
日本社会と日本語について考える～

日時: 2024年11月1日(金) 13時30分～16時30分

会場: 早稲田大学早稲田キャンパス

法学部8号館3階会議室、およびZoom

主催: 早稲田大学法学部

共催: 早稲田大学生生活協同組合

全国大学生協連 東京ブロック

教職員委員会・学生委員会



テーマ：「市民たちの社会とその言語的基礎 —日本社会と日本語について考える—」

昨年出版された、水林章著『日本語に生まれること、フランス語を生きること—来るべき市民の社会とその言語をめぐって』（春秋社）をテキストとして、私達が日常的に使っている日本語が、フランス語との比較でどのような特徴を持ち、それがフランス社会とはどのように異なる日本社会を形作っているのか、これを日本語に生まれ、フランス語を生きてきた著者に語っていただきます。



コメンテーター：水林彪氏
(早稲田大学名誉教授)
「法学・歴史学からのコメント」

著者紹介

1951年生。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学、パリ第7大学博士課程修了、明治大学、東京外国語大学、上智大学、早稲田大学法学部でフランス語・フランス文学を講じる。

『ロベール・仏和大辞典』（小学館、1988）の編集委員をつとめ、さらに1994年から2007年にかけて学術的書物を6冊刊行したあと、2011年よりフランス語での執筆活動にたずさわる。

現在までに、ガリマール書店から7冊、アルレア出版から1冊を上梓している。アカデミー・フランセーズ仏語・仏文学大賞（2011年）、フランス書店大賞（2019年）等受賞、フランス・レジオンドヌール勲章シュヴァリエ受章（2017年）、『壊れた魂』（みすず書房、2021年）で第72回芸術選奨文部科学大臣賞受賞（2021年）。

●参加費無料

●参加希望の方は、下記のフォームより事前に、お申込みをお願いします。

URL: <https://forms.office.com/r/x6AFiC62LN?origin=lprLink>

●お問合せ先：全国大学生協連 東京ブロック(担当：小野)

Ono.Kumiko@univ.coop

TEL 03-5307-7414

